東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 総合的な探究の時間 科目： 探究基礎

教科： 総合的な探究の時間 科目： 探究基礎 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 2 年次 I部：① II部：② III部：③

教科担当者： ①鈴木航、塚野智之、大城晴菜 ②辻阿弓、田中都明、田中快明 ③牛腸淳、元木恒輔、城所真也

使用教科書： (なし)

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。

【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。

【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。

科目 探究基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ブレン・ストーミング、KJ法を理解し、課題の発見・調査の分析・考察、研究のまとめ、発表において、グループ協議を通してこれらを活用できる。テーマ研究に必要な基礎内容を教科横断的に学習するとともに、課題に対する調査と情報収集、統計的分析、研究のまとめ、発表の方法を理解し、これらを身につける。	仮説を見直し発見した課題を研究主題に移し、調査結果と情報収集をまとめて、研究結果を分析・考察・討論し、他者を尊重し自己理解を深める過程における思考力と判断力、調査と情報収集の数値化・グラフ化・可視化や、発表に向けた資料まとめ、プレゼンテーション技法、グループ協議における表現力、以上を養う。	興味・関心から課題を自ら見つけ、主体的で深い学びを通して、問題解決の価値観、多様性の尊重や他者の尊重から自己肯定感を高めるなどの道徳性を養う。社会的課題に目を向け、社会貢献に向けて主体的に行動する意欲ある学習者によって、自身を「みがき」、地域社会での「であろう」意味を知り、「いきる」力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
前期	A 授業オリエンテーション 【知識及び技能】 ・科目「探究基礎」に関して、総合学科の科目系統の位置づけ、総合的な探究の時間の探究学習と成績、年間授業計画、授業形態を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ガイダンス資料や説明から、総合的な探究の時間の探究の趣旨を多面的に捉えることができる。 ・視覚的認知学習に集中して、広い視野をもって認知判断をしようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・総合的な探究の時間の探究学習、年間授業計画、授業形態に対して、興味・関心を持ち、自分自身の課題と照らして学習を深めようとする。	学習目標、年間計画、評価方法などを指導する。 ①総合学科の学習内容の系統(流れ) 1年次：産業社会と人間 2年次：探究基礎 3年次：課題研究 ②総合的な探究の時間 自らの学び、主体的な学習、成績 ③年間授業計画 前期：学習方法 後期：テーマ研究の調査・発表 ④授業形態 前期：一斉・グループ形式 後期：自主学習 ⑤認知学習 アイスブレイクを兼ねた視野を広くもつ学習	【知識及び技能】 ①科目「探究基礎」は、総合学科の科目系統で、総合的な探究の時間であることを理解している。 ②「探究基礎」の探究学習と成績、年間授業計画、授業形態を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①総合的な探究の時間の探究の趣旨を多面的に捉えている。 ②視覚的認知学習に集中して、広い視野をもって認知判断をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ①総合的な探究の時間の探究学習、年間授業計画、授業形態に対して、興味・関心を持ち、自分自身の課題と照らして学習を深めようとしている。					2
	B ブレン・ストーミング(BS)とKJ法 【知識及び技能】 ・ブレン・ストーミングとKJ法を理解し、その実践をしようとする。 ・手順(BS、カード作り、グループ編成、空間配置、A型図解、B型文章化)を踏まえて、KJ法を的確に実施できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事例主題を通して、班協議のKJ法を活用して多様な発案を起こし、グループ編成からA型図解までまとめて表現できる。 ・個別でA型図解からB型文章化にまとめて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事例主題、班協議、KJ法による班協議に興味・関心を持ち、自発的に発案し、協働して多様な発案をまとめようとする。	主題「世田谷泉高校をより良くする方法」のグループ協議を通して、指導する。 ①ブレン・ストーミングとKJ法 BS、カード作り、グループ編成、空間配置、A型図解、B型文章化、以上の手順の学習 ②事例主題「世田谷泉高校をより良くする方法」によるKJ法の実践 ・協議班の編成 ・KJ法の実践 ア、BS、カード作り ⇒グループ編成 ⇒空間配置、A型図解、 イ、B型文章化 班を解散し、個別に文章にまとめる	【知識及び技能】 ①ブレン・ストーミングとKJ法を理解し、その実践をしている。 ②手順(BS、カード作り、グループ編成、空間配置、A型図解、B型文章化)を踏まえて、KJ法を的確に実施している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①事例主題を通して、班協議のKJ法を活用して多様な発案を起こし、グループ編成からA型図解までまとめて表現している。 ②個別でA型図解からB型文章化にまとめて表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ①事例主題、班協議、KJ法による班協議に興味・関心を持ち、自発的に発案し、協働して多様な発案をまとめようとしている。					12
	C 調査研究のためのPC操作および調査方法 【知識及び技能】 ・PCソフト起動、データ保存と印刷、パワーポイント作成と活用、以上の方法を理解し、それらの実践ができる。 ・調査内容に応じた数値データの処理ができる。 ・後々の調査方法とその利点や注意点について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・パワーポイント作成とスライドショーの基本操作を活用しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持参したタブレットを授業で新たに活用することに興味・関心を持ち、指導場面に応じて自発的に操作しようとする。	タブレット端末による調査資料や研究発表資料の作成・保存・プレゼンテーション、および研究の調査方法を指導する。 ①調査研究のためのPC操作 ・PCソフトの起動 ・データの保存先の確認と印刷 ・パワーポイントの作成と活用 ・1T活用上の注意 ②調査方法 ・数値データの処理(百分率、可視化、グラフ化など) ・フィールド、アンケート、文献、インタビュー、Webの利点と注意点	【知識及び技能】 ①PCソフト起動、データ保存と印刷、パワーポイント作成と活用、以上の方法を理解し、それらの実践をしている。 ②調査内容に応じた数値データの処理をしている。 ③後々の調査方法とその利点や注意点について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①パワーポイント作成とスライドショーの基本操作を活用している。 【学びに向かう力、人間性等】 ①持参したタブレットを授業で新たに活用することに興味・関心を持ち、指導場面に応じて自発的に操作しようとしている。					22
D 地域に関する調査研究およびアンケート調査研究 【知識及び技能】 ・講演を通してSDGsの概要を理解できる。 ・アンケートの作成、集計処理、研究発表の方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・SDGsに関する地域の課題について、多面的に考えて、仮説立案をもってその課題を選出し、主題に移すことができる。 ・アンケート調査結果を通じた処理内容をまとめられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・アンケート調査に興味・関心を持ち、編成班で協働して、仮説立案から研究主題を決めて票作成をまとめようとする。 ・編成班で調査分業を協働しようとする。	SDGsに関する講話指導を行い、夏季課題「地域の課題に関する調査」を提示する。また、夏季課題を参考にしたアンケート調査を指導する。 ①外部講師による講話指導 ・主題「SDGsへ持続可能な社会について知り、考える」の講話 ②夏季課題の事前指導 ・SDGsの振り返り ・SDGsの地域の課題例の紹介 ・夏季課題「地域の課題に関する調査」の主題と調査計画の検討 ③アンケート調査研究 ・夏季課題、世田谷泉高校、その他のうちの希望数値の班編成でこれらの3系統から研究主題を決める ・アンケート票の作成と仮説立案 ・アンケート調査と集計処理 ・調査結果の考察とまとめ、発表	【知識及び技能】 ①講演を通してSDGsの概要を理解している。 ②アンケートの作成、集計処理、研究発表の方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①SDGsに関する地域の課題について、多面的に考えて、仮説立案をもってその課題を選出し、主題に移している。 ②アンケート調査結果を通じた処理内容をまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 ①アンケート調査に興味・関心を持ち、編成班で協働して、仮説立案から研究主題を決めて票作成をまとめようとしている。 ②編成班で調査分業を協働しようとしている。					20	
E SDGsを踏まえた課題別調査研究 【知識及び技能】 ・SDGsを踏まえた自身に関する課題を見つめられる。 ・主題に対する調査を行い、その結果を集計できる。 ・研究のまとめを資料を通して、プレゼンテーションできる。	SDGsを踏まえた居住地域、世田谷泉高校、その他、以上3系統から選択した課題に関する調査研究を指導する。 ①研究調査班の編成 ・3系統の希望数値による編成 ・班の自主収支に対する分業 ②研究主題の選定 ・仮説立案による主題の選定	【知識及び技能】 ①SDGsを踏まえた自身に関する課題を見つめられている。 ②主題に対する調査を行い、その結果を集計している。 ③研究のまとめを資料を通して、プレゼンテーションしている。 【思考力、判断力、表現力等】						

後期	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自身の課題を仮説立案に照らして研究主題に移すことができる。 調査の集計結果をグラフ化するなど明確に表現できる。 調査結果から研究主題に対する考察を通して仮説に照らした結論をまとめられる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGsを踏まえた自身に関する課題を発見しようとする。 課題別調査研究に興味・関心を持ち、編成班で協働して、仮説立案、研究主題、調査、結果に対する考察、まとめ、発表、以上の一連の流れに関わろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査や考察の過程で主題決定 <p>③調査作業</p> <ul style="list-style-type: none"> フィールド、アンケート、文献、インタビュー、Webの作業 <p>④調査結果の処理と分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 結果の数値化、数値データ処理 仮説と照らした結果分析と考察 <p>⑤調査研究の中間発表</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究内容、進捗状況などの発表 研究内容や方法の課題確認 <p>⑥研究内容や方法の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 再調査、再発見、再分析と考察（探究サイクル） <p>⑦研究のまとめと発表</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究資料と筆記パワーポイントの作成および発表準備 班全員による発表 	<p>①自身の課題を仮説立案に照らして研究主題に移している。</p> <p>②調査の集計結果をグラフ化するなど明確に表現している。</p> <p>③調査結果から研究主題に対する考察を通して仮説に照らした結論をまとめている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①SDGsを踏まえた自身に関する課題を発見しようとしている。</p> <p>②課題別調査研究に興味・関心を持ち、編成班で協働して、仮説立案、研究主題、調査、結果に対する考察、まとめ、発表、以上の一連の流れに関わろうとしている。</p>	○	○	○	20
	<p>F 年間授業振り返り（まとめ）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> KJ法、研究主題の設定方法、調査方法、調査結果の表現と考察、研究まとめ、発表について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGsについて、その概要を理解し、自身に関する課題として捉えられる。 課題から研究主題へ、調査結果から結論へ、それぞれ考察する過程において、探究ができています。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> KJ法、SDGsの視点、課題を主題に変えて研究調査することについて、興味・関心をもって振り返ろうとしている。 	<p>前単元「SDGsを踏まえた課題別調査研究」の振り返りを含めて指導する。「世田谷系高校をより良くする方法」「SDGsを踏まえた居住地域の課題」の研究事例を取り上げて、探究がどの程度できたかを振り返り指導する。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>①KJ法、研究主題の設定方法、調査方法、調査結果の表現と考察、研究まとめ、発表について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①SDGsについて、その概要を理解し、自身に関する課題として捉えている。</p> <p>②課題から研究主題へ、調査結果から結論へ、それぞれ考察する過程において、探究している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①KJ法、SDGsの視点、課題を主題に変えて研究調査することについて、興味・関心をもって振り返っている。</p>	○	○	○	2
							合計 78